

# 三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. FA-D-0014 1/3

2007年11月

**表 題** BV船級規格 型式認定取得

**適用機種** MELSEC-Qシリーズ\*

\*：認定機種についてはMELFANSwebホームページ：  
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb> でご確認ください。

三菱シーケンサMELSEC-Qシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、MELSEC-QシリーズはBureau Veritas（フランス船級協会）から、2001年度新ルール(IACS UR E10 Ver. 3/2001)によるProgrammable Logic Control Unitsの型式認定を取得しました。

IACS UR E10 Ver. 3は、156MHz～165MHzにおいて、エミッション（電磁妨害）が24dB(@3m)以下など厳しい規制が盛り込まれました。

しかし、MELSEC-Qシリーズは世界的な権威をもつBureau Veritas（フランス船級協会）によって、これを満足することが認められました。



## 1. BV規格認定内容

下表にBV規格の認定内容を示します。

認定内容

項 目	内 容
認定機関	Bureau Veritas（フランス船級協会）
認定番号	13029/A2 BV
分類	Programmable Logic Control Units
ルール	Rules for the Classification of Steel Ships (国際船級協会統一要求事項 IACS UR E10 Ver. 3準拠)
有効期間	2009年1月5日まで有効

認定詳細

項 目	内 容	備 考
温 度	5℃～55℃	—
湿 度	95%以下	—
振 動	0. 7G (13. 2～100Hz)	2. 制約事項(1)参照
EMC	船体の任意の場所（艦橋及び甲板を含む）	2. 制約事項(2)～(7)参照
その他	(1) 以下の場所に設置する場合は、適切な保護を施し、適切な筐体に格納すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静電気の発生する場所</li> <li>・ 強い電磁場の発生する場所</li> <li>・ 電源ラインの近傍</li> </ul> (2) Bureau Veritasの定めるルールにより機器のセーフガードが必要なシステムに用いられる場合、予備のシステムを用意すること。	

## 2. 制約事項

BV認定システムとしてMELSEC-Qシリーズをお使いいただく場合の制約事項についてご連絡致します。

### (1) ベースユニット取付けについて

Q3□SB, Q3□B, Q5□B, Q6□B, Q00JCPUをDINレールに取付ける際には、別売のDINレール取付けアダプタが必要です。

Q3□SB, Q3□B, Q5□B, Q6□B, Q00JCPUは、DINレールに取付けて、さらにネジで4隅を制御盤と固定してください。ただし、Q6DIN1Aを使用した場合は、4隅をネジで固定する必要はありません。

ベースユニット				適用DINレール取付けアダプタ
Q38B,	Q312B,	Q68B,	Q612B	Q6DIN1, Q6DIN1A
Q35B,	Q65B,	Q00JCPU		Q6DIN2, Q6DIN1A
Q32SB,	Q33SB,	Q35SB,	Q33B	Q6DIN3, Q6DIN1A
Q52B,	Q55B,	Q63B		

なお、QA1S6□B, QA6□Bは、ネジで4隅を制御盤と固定してください。

### (2) 制御盤について

- ① 制御盤は導電性としてください。
- ② 制御盤の天板、底板などをボルトで固定する場合は、固定箇所の塗装をはがし、面接触が図れるようにしてください。
- ③ 制御盤内に内板を使用する場合は、制御盤本体との電氣的接触を確保してください。  
そのために、内板と制御盤本体への取付けボルト部分の塗装をはがし、可能な限り広い面で導電性を確保してください。
- ④ 制御盤本体は、太い（2mm<sup>2</sup>以上）接地線で接続してください。
- ⑤ 制御盤は、電波の漏れを抑えるために極力隙間のない構造としてください。  
制御盤扉と本体の間は、EMIガスケットなどを貼ってください。また、引込み穴などは直径を10cm以下としてください。

(3) ケーブルについて

制御盤から引き出されるケーブルは、アンテナの役目をしてノイズを放射するため、必ずシールドケーブルを使用してください。

(4) ノイズフィルタについて

Q61Pを使用する場合は、ノイズフィルタを電源ラインへ必ず取付けてください。ノイズフィルタはデンセイラムダ製MXBシリーズとCOSEL製NAH-472シリーズを直列に接続してください。

(5) フェライトコアについて

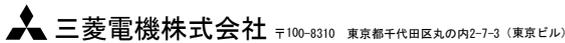
電源線を含む制御盤外に引き出されるすべてのケーブルにフェライトコアを必ず装着してください。

(6) 装置の保守点検について

MELSEC-QシリーズをBV認定製品としてお使いになる場合は、保守点検などの作業は保全者が行ってください。ここで保全者とは、適切な教育・訓練を受け、業務遂行上の危険を認知し、回避できる実務経験者を指します。

(7) 暖機運転について

熱電対や測温抵抗体などの温度入力ユニットについては30分の暖機運転をしてから使用してください。



お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心31-2 (明治按田生命さいたま新都心ビルランドアクシスタワー)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-8657 広島市中区中島町3-25 (ニッセイ平和公園ビル)	(082) 248-5445
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0655
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>  
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドID登録(無料)が必要です。

三菱電機FA機器TEL、FAX技術相談 ※1:土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日  
 ※2:ACサーボ、モーション窓口にて対応します  
 ※3:春期・夏期・年末年始の休日を除く

●電話技術相談窓口

対 象 機 種	電話番号	受 付 時 間 <sup>※1</sup>	
MELSEC-Q/QnA/A シーケンサ	シーケンサ一般(下記以外) ネットワーク、シリアル コミュニケーションユニット 位置決めユニット※2 アナログ、温調、温度入力、 高速カウンタユニット C言語コントローラ/ MESインタフェースユニット	052-711-5111 052-712-2578 052-712-6607 052-712-2579	月曜～金曜 9:00～19:00
MELSOFTシーケンサ プログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ SW□I/D-GPPA/GPPQなど	052-711-0037	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSOFT通信支援 ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ SW□DSF-C/SKP/OLEX/XMOPなど Q80BDシリーズなど	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSECパソコンボード MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU(Q12/Q25PHCPU) 二重化CPU(Q12/Q25PHCPU) MELSOFT FXシリーズ	052-712-2830	
MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC-QSシリーズ)	052-712-3079	
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417	月曜～金曜 9:00～19:00

●FAX技術相談窓口

対 象 機 種	FAX番号	受 付 時 間 <sup>※1</sup>
上記全対象機種	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時 <sup>※3</sup> )

⚠安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくため  
 ご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。